

「工学部学友会」 活動状況

連携推進チーム	リーダー：松下欣市 メンバー：内片武治、若林利治、特別理事
---------	----------------------------------

工学部学友会設立の目的達成の事業（手段）を設立総会にて賛同を戴いた内容の内 連携推進関連の事業内容を下記の3項目に集約し実施目標を立案し活動して参りました。

実施項目と活動内容

工学部学友会の啓蒙	ねらい	湖風会、会員、県大工学部への啓蒙
	活動内容	○年6回開催される湖風会役員会及び名簿管理委員会、広報HP小委員会出席して工学部学友会の活動を報告し同時に湖風会からの方針を反映して来ました。 ○特に今期は湖風会館の建設資金の寄附(1,800件1,530万円目標達成30%)と落成式典への参列を要請致しました。 ○共同企画「会社訪問」「テニスの集い」での在校生との接点を継続する事が出来ました。
県大先生の工学部学友会での講演 現役卒業生の県大での講演	ねらい	2年に一度開催する工学部学友会総会にて
	活動内容	○彦機会設立以来7回の総会ごとに県大先生方のご厚意にて講演を継続する事が出来ました。 ○工学部学友会誕生にご尽力戴いた前工学部長松下泰雄教授・中川平三郎教授の退官記念講義を聞く機会を得ました。 ○過去に数回現役卒業生が学校に出向き現役学生に種々講義を致しましたが今期は企画する事が出来ませんでした。
卒業会員の大学訪問 卒業会員のクラス会開催支援	ねらい	「クラス会開催が同窓会活動の原点」県短が一時閉設になり数年間学舎を訪ねる事が出来ませんでした。統一同窓会の誕生、同窓会館が完成した事を機会に呼掛けを強化する。
	活動内容	○彦機会設立当初より「クラス会便り」としてHPに機械科21、化学科5合計26クラスを掲載し会員の皆様に紹介する事が出来ました。 ○湖風会の設立と同時に共同主催として延べ65のクラス会を紹介する事も出来、同時に波及効果としてクラス名簿の確認が出来、湖風会誌を多くの会員皆様に送付出来る様に成りました。

今後は今期に出来なかった項目を再考し深耕して参ります。湖風会創立10周年記念事業にも 更に先日 大学と湖風会役員との意見交換会が開催されて2020年問題(就学人口の減少)もあり大学の生き残りの為の改革が目下の課題であります。高校から学生を受け入れるだけでなく、生涯教育での大学の位置づけ 又文科省が推進する“地(知)の拠点”として地域との連携も重要なポイントとなる。その様な中で同窓会がどう機能して行くかも考えなければなりません。この変革点として平成27年6月6日に県大開学20年目 県短大開設65周年 記念式典の挙行を大田学長より湖風会誌に寄稿して戴いております。

「工学部学友会」 活動状況

HP 維持チーム	リーダー：山添栄造 メンバー：国領朝輝、松下欣市、藤浪市郎
----------	----------------------------------

- 2011年11月「彦機会」HPをバージョンアップし、新「工学部学友会」HPとして開設
- 新「工学部学友会」HPの主な更新（掲載）、新設の概要

①2011年12月

第1回「工学部学友会」総会・懇親会の掲載

②2011年12月～第1回～14回理事会の議事録の掲載

③2012年7月～

森精機器(株)、山科精機(株)の訪問記録の掲載

(キャノンマシナリー(株)の訪問記録は未掲載)

④2012年3月～クラス会（機械・化学科卒、県立大卒クラス会）の掲載

⑤2012年3月～

同好会活動（ゴルフ、湖風会テニスの集い、ウオーキング&小旅行、カラオケ、フォト同好会）の実施報告の掲載

⑥2012年6月：企業広告の掲載（トップページ下に掲載）

⑦2012年12月：「工学部学友会」専用掲示板の新設

- 2013年3月：アクセスドメイン <http://k-gakuyukai.jp/> の取得とSEO対策（検索エンジン対応）の実施

- 今後の主な課題 ①トップページを含めたリニューアル化

②その他、新ページの新設（例：会員の趣味・随筆などのページ）の検討

詳しくは「工学部学友会」のHPをご覧ください。 <http://k-gakuyukai.jp/>



「工学部学友会」 活動状況

活動支援チーム	リーダー：立入勘一 メンバー：林 正信、吉田 隆、谷川 忠、長谷正勝、特別顧問
---------	--

滋賀県立大学工学部（材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科）支援会は、優秀な人材の育成・輩出のため、各産業界における企業との連携強化が不可欠との観点で、平成19年に設立されました。

湖風会「工学部学友会」も工学部の活動を支援する目的から、支援会への加入企業の紹介を担っております。「工学部学友会」の紹介で支援会へご加入頂いた企業は次の通りです。

- (1) 山科精器株式会社 栗東市東坂 525 代表取締役社長 大日常男

専用工作機械、熱交換器、注油器、医療機器、理化学機器の製造販売

- (2) 兵神装備株式会社 滋賀事業所 長浜市高月町東物部 1021

本社神戸 代表取締役社長 小野純夫 産業用ポンプ及び周辺機器の製造販売

- (3) 株式会社榎屋 名古屋市中区上前津 2-9-29 代表取締役社長 大原鉦一

電気電子材料及び部品の工業用テープ類、セラミック部品合成樹脂、接着類の製造販売

「工学部学友会」活動状況  
活動支援チーム 企業訪問活動

※注：文中の役職名は、会社訪問時を表します。

1) 2012年7月12日(木) キヤノンマシナリー株式会社様

所在地：〒525-8511 滋賀県草津市南山田町 85 <http://www.canon-machinery.co.jp/>

事務機器関連組立装置、小型二次電池製造装置、プリント基板関連装置、自動車電装関連装置等を中心とした「FAシステム事業」、半導体製造装置のうち後工程であるボンディング設備、その他半導体関連設備等を中心とした「セミコンシステム事業」の開発・製造・販売をされている。

参加者は県大工学部教官3名、機械システム工学科学生48名、湖風会・「工学部学友会」9名の計60名。



2) 2012年9月14日(金) 森精機器株式会社須崎工場様 (S31M 卒：森脇社長)

所在地：〒785-0028 高知県須崎市上分丙 1758-7 <http://www.moriseikiki.co.jp/>

PCストランド用緊張金具の製造、精密切削加工を両輪に、地元に着目し堅実な経営を通じ、自然の美しい山間地で人材の雇用・育成に素晴らしい成果を上げられている。

参加者は県大工学部教授、「工学部学友会」の計12名。



3) 2013年7月4日(木) 山科精器株式会社様

所在地：〒520-3001 滋賀県栗東市東坂 525 <http://www.yasec.co.jp/>

FA化に貢献する各種専用工作機械、船舶用並びに発電プラント向けの熱交換器、産業機械・船舶機関向潤滑器および医療機器の製造販売をされている中堅企業である。

参加者は県大工学部教官3名、機械システム工学科学生48名、湖風会・「工学部学友会」9名の計60名。



※会社訪問の詳細は、「工学部学友会」HP <http://k-gakuyukai.jp/> をご覧ください

「工学部学友会」 活動状況

名簿管理チーム	リーダー：国領朝輝 メンバー：松下欣市、藤浪市郎、長谷正勝
---------	----------------------------------

工学部学友会（以下学友会と言う）活動の2本柱は、発足間もない学友会の体制を確固たるものにする事と、学友会設置目標を達成するための事業を軌道に乗せることとあります。名簿管理チームは学友会の体制を固める役割を担って活動を進めております。

管理する名簿と活動内容

役員名簿	ねらい	H23年設立総会で承認された役員をベースに、化学・色染卒の役員の充実を図り、県大卒の役員候補を採求する
	活動内容	○化学・色染卒の理事3人が、諸事情により学友会活動に参加が困難となったので交代する。 ○学友会に対する県大工学部のご理解により、特別理事1名の任命をして頂いた。
学科学年幹事（以下学年幹事と言う）名簿	ねらい	○機械・紡織卒、化学・色染卒は再度クラス会開催状況を把握し、学年幹事の依頼及び更新をおこなう ○県大卒は、H24年以降卒業者は、卒業までに任命出来るよう県大工学部に依頼する、それ以前の卒業者に対してもゼミ交流の場などを通じて採求する
	活動内容	○化学・色染卒について、湖風会の評議員や、同窓会館建築寄付者名簿などから該当者を選んで、設立当時12名→42名に充実することが出来た ○県大(卒)生は、特別理事を通じて9名(機械6名、材料3名)を任命して頂いた。
クラス会名簿	ねらい	学友会はクラス会活動をしている会員情報の収集を行い、活動をしていないクラス会会員名簿は管理しない、生きた情報のみを管理し、今後の学友会活動に寄与する。
	活動内容	H25年1月、96クラスの学年幹事に大掛かりなアンケートを実施し、44クラスから返送をもらった、クラス会会員名簿も34クラスから同意と提供を受けた。このアンケート結果は学友会活動の今後の指針を得るところ大である。
教職員会員名簿	ねらい	短大・県大の退任済み教職員を登録して、学友会に関する情報(クラス会・総会開催など)を伝える。現役教職員については、学友会が実施する事業に、共に活動ご支援を頂ける体制をつくる。
	活動内容	特別理事を通じて、県大工学部を対象に51名(機械14名、材料18名、電気19名)の登録を頂いた。

今後は名簿管理が学友会活動の有効な支えになるよう、更に県大(卒)生の学年幹事、クラス会名簿の充実を目指して展開して参ります。